

市立旭川病院

公立病院経営強化プラン（第4次中期経営計画）の概要

地域医療構想等を踏まえた当院の役割や機能（18P）

北海道医療計画における  
地域医療連携体制を支える当院の役割

5  
疾  
病

- がん
- 心血管疾患
- 糖尿病
- 精神疾患

6  
事  
業

- 救急医療
- 周産期医療
- 新興感染症

コロナ入院治療患者数12,517人  
(R2年2月～R4年2月末実績)

※第8次医療計画（R6年度～11年度）による

当院の考え・方針

感染症指定医療機関，がん診療連携拠点病院としての役割に加え，公立病院として様々な役割を果たしていく必要がある。

機能分化への対応（19P）

今後の人口減等を見据えたとき，  
機能分化は圏域としての重要課題。

- 感染症指定医療機関
- 精神科病床100床
- がん診療連携拠点病院
- 救急医療

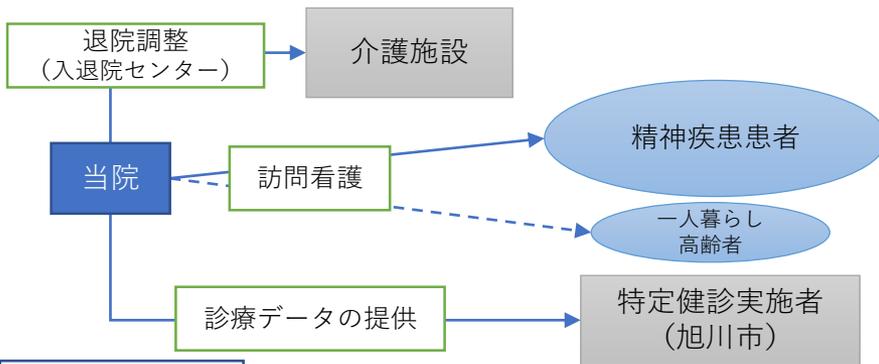
- 1次：小児救急・夜間急病センター
- 2次：輪番制医療機関

当面維持していく  
ことがこの地域に  
とって必須。

当院の考え・方針

将来を見据えた機能分化は，地域特性を踏まえながら地域全体で慎重に検討する必要がある。

地域包括ケアシステム構築に向けた当院の役割や機能（18P）



当院の考え・方針

今後も医師や看護師の確保に努め，当院の持つ強みや機能を最大限に活かし，質の高い医療を地域に提供していく。

連携強化への対応（19P）

連携強化は限りある医療人材を  
地域全体で効率的に活用するためにも重要な取組。

- 登録医制度による病病・病診連携の強化（292か所）
- 入退院センターを通じた情報共有の強化

当院の考え・方針

今後は院内及び地域連携クリティカルパスの充実，紹介医を交えたカンファレンスの充実を図るとともに，将来的には医療器械共同利用の一層の強化や紹介受診重点医療機関の指定を目指すなど，他の医療機関との連携をさらに密にしていく。